

農地・水・環境保全だより 第23号

編集・発行 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

伊勢管内

平成27年度 多面的機能支払制度 第1回 伊勢管内活動組織説明会が開催されました。

去る7月22日（水）に伊勢市御薗町のハートプラザみそのにおいて、伊勢市主催による「平成27年度多面的機能支払制度第1回伊勢管内活動組織説明会」が開催されました。この説明会には、伊勢市内の活動組織と平成27年度から新たに活動に取り組むこととなった志摩市、南伊勢町の活動組織とその市町関係者約80名が参加されました。

説明会は、主催者である伊勢市産業観光部農林水産課の日置和宏課長の挨拶に続き、三重県農業基盤整備課農地水保全班の伊藤知昭主幹より法制化に伴う平成27年度多面的機能支払制度について「多面的機能支払交付金のあらまし」、「多面的機能支払交付金の活動の手引き」を用いての説明、平成27年度から農地維持支払交付金及び資源向上支払（共同）交付金の活動として資源向上支払（長寿命化）交付金の活動項目も実施できることになった留意点について説明がありました。



伊勢市・日置課長 挨拶

その後、質疑応答となり活動内容、財産譲渡の方法等活発な意見交換がなされました。



県・伊藤主幹による説明

最後に伊勢市産業観光部農林水産課の担当者より、伊勢市における多面的機能支払交付金事業に係る工事方法のルールが説明されました。

休憩をはさみ、活動組織の事例紹介となり田んぼアートに取り組んでいる「水土里プロジェクトおばた」と長寿命化に取り組んでいる「一色資源等保全協議会」の活動事例発表があり、参加者は熱心に説明に耳を傾けていました。

①水土里プロジェクトおばた

辻会長から、「田んぼアート IN おばた」と題した企画書の事業計画等を詳細に説明され、ドローンを使用した上空から撮影された田植えの様子、色づいたアートの風景が紹介された。



辻会長による説明



竜田代表による説明

②一色資源等保全協議会

竜田代表から、自主施工で水路の改修（長寿命化）に取り組んでいる活動について、少ないお金で多くの活動をやりたいとの思いで自分たちの手で実施することになった経緯や自主施工で行ったため思いどおりに施工することができたこと等のメリットが説明された。

～伊賀市において活動組織の履行確認を実施しました～

本年 6 月末から 7 月末にかけて、伊賀市において平成 26 年度から新たに多面的機能支払交付金を活用して活動に取り組みされた 45 組織と資源向上支払（長寿命化）交付金に取り組んでいる 6 組織を対象に伊賀市の多面的機能支払担当者と県・協議会が協力して履行確認を実施しました。

市担当者が活動記録や作業写真整理帳等をもとに活動内容を確認し、県担当者及び協議会事務局で金銭出納簿や領収書綴等をもとに交付金が適正に使われているかの確認を行いました。

各活動組織からは、点検・機能診断のやり方、こんな活動をしていても良いか、こんなところにお金を使っても良いか、日当を支払っても良いか、こんな物を購入しても良いかなどたくさんのご相談、ご意見等を聞かせていただき、その中で必要に応じて活動内容、交付金の使途、領収書の保管等について指導をさせていただきました。

履行確認の中で、活動組織の役員の皆さまが活動をしていく上でいろいろと苦労している点や、今後の活動に対する熱い思いも聞かせていただくことができました。

今後、伊賀市だけでなく、他の市町においても履行確認を実施する予定で、今年度は、少なくとも平成 26 年度新規の活動組織を対象に履行確認を行いたいと思います。この履行確認を通じて実施しなければならぬ活動が実施されていなかったり、計画にない活動が行われていたり、不適切なお金の使用など、交付金の返還が発生することがないよう確認させていただくと共に活動組織の皆さまとの意見交換の場としたいと思います。



帳簿類の点検確認



現場での確認

水路の目地補修について（その 1）

昨年 1 2 月に開催しました「第 7 回みえのつどい」のプログラムの中で好評であった「補修メンテナンス、各種資材等の活用」に関連する情報を、さらに多くの活動組織の皆さまへお伝えしたいことから「水路の目地補修について」と題し 3 回シリーズで紹介していきます。

なお、補修工法の紹介は、目地の補修材料販売はもとより水門・スクリーンの補修工事、獣害対策用柵の設置工事、草刈り用ステップ販売などを専門とする(株)エフイーエス 代表取締役の伏見 英雄喜氏にお願いしました。

目地の補修材料について同氏の今までの経験に基づき、皆さんにとって、容易に施工でき、安価な商品を 3 回に分けて紹介させていただきます。

投稿内容

商社ですので特定の商品の紹介ではなく、商社の強みである必要に応じた材料等の情報収集力を十分に活かし、

- ①どなたでも簡単に施工が出来る。
- ②確かな品質。
- ③適正価格。

の 3 点をモットーに、新商品の開発に取り組んでおります。

メーカーでは自社商品の販売を第一に考えておられますが、私どもは特定な商品を持っていませんから、多種多様な商品の中から皆さまにとって良い商品を提供させていただけると自負しております。

まずは、今までの取組みについて紹介させていただきます。

最初に紹介させていただきました商品は「コロボンド 65」でした。

2 液性の液状エポキシ樹脂で主剤 13.3：硬化剤 1.0 の比率で混ぜ、コンクリート面の亀裂・欠損部に流し込むような感じで使用していただくのですが、硬化時間が早く、硬化すると堅固になり、密着性と水密性に優れています。

しかし、2 液性のために混合と攪拌が必要であり、現場で容易に施工するという点では相当なる労力を必要とし、面倒であるとの意見が多々ありました。さらに垂直面に塗布する時に低粘度であるため液が垂れて施工が難しいとの意見もありました。そこで垂直面

には 1 液性の「EC パテ」を使用していただくことを提案させていただきましたが、EC パテは 1 液性で施工が容易ではありますが、高価格であるの経済的な問題が生じました。

それらの経験から、2 液性は主剤と硬化剤の分量計算と攪拌作業が必要で、かつ現場で行う場合には非常に時間と手間がかかることが判明しました。



コロボンド 65 施工状況



EC パテ使用

そこで 1 液性で簡単に施工出来る商品を調べ、次に紹介させていただいたのが、「シリコンシーリング材」です。

農業用水路は、水が流れたり日照りで暑くなったり、非常に厳しい気候条件で製品は設置されてるので、お近くのホームセンターで販売されている安価なシーリング材は、耐候性、水密性に劣るのでお薦めすることは出来ません。

1 液性シーリング材の施工方法は、まずコンクリート面の接着性を向上させるためにプライマーを塗布します。20 分ほどで乾燥しますので、その後コーキングガンでシーリング材を目地部に充填し、ヘラで表面を整えて完成です。

施工は非常に簡単に済みますが、コンクリートカッターを使って 1cm 幅の目地を作る作業と、プライマー塗布の作業が必要となります。コンクリートカッターは 100 ボルトの電源が必要となりますし、作業をきっちりとやっておかないと本体シーリング材の密着性が劣り、機能が発揮できない可能性があります、十分に注意を払う必要があります。

そこで、皆さまにとってもっと簡単に施工出来る商品がないかと、新商品の開発に取り組みました。このことについて、次号（その 2）で紹介させていただきます。ご期待下さい。

◎事務局からのお知らせ◎

多面的機能支払「第 8 回みえのつどい」が開催されます。

日 時：平成 27 年 12 月 12 日（土）

場 所：三重県津市一身田上津部田 1234 三重県総合文化センター

○日頃の皆さまの活動を「たより」に紹介したいと考えております。紹介を希望される方は事務局までどんどん投稿して下さい。

投稿先

〒514-0006

津市広明町 330 番地（三重県土地改良事業団体連合会内）

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

TEL 059-226-4824 FAX 059-225-7332

～事務局よりお詫びとお断り～

前号（第 22 号）の紙面において、平成 27 年度「農地・水・環境保全だより」は早急に活動組織さんにお伝えしなければならない内容のみのトピックスとし、活動組織さんの紹介等の情報発信は「みえの土地改良」でお伝えするとお知らせしましたが、諸般の事情により平成 26 年度と同様、内容を区分せずに「農地・水・環境保全だより」と「みえの土地改良」の両方で最新の情報を提供させていただきますのでご了承下さい。